



芸術の輪がつなぐ人の輪

第8回文化公演

第8回文化公演が2月10日、東部交流センター（今福公民館）で開催され、市内のさまざまな地域団体やサークルなどが日頃の活動の成果を披露しました。

舞台発表では、民謡、バレエ、舞踊、なぎなたなど多彩な演目が披露され、会場から大きな拍手が送られました。展示発表では、書道、ドライフラワーの絵画、パッチワーク作品などが多数並び、来場者たちは個性輝く作品を熱心に見入っていました。

本公演会は発表者や来場者の交流の場であり、活動の場やジャンルを超えた舞台や作品で得られる刺激や新たな気づきは、皆さんの今後の活動に活かされます。



全国大会への切符を掴む！

松浦玄土さんの所属チームが支部予選優勝

第49回日本少年野球春季全国大会福岡県南支部予選の決勝が2月16日、糸島球場で行われ、調川中学校1年生の松浦玄土さんが所属する糸島ボーイズ（福岡県）が優勝に輝きました。

同チームは、今大会では、1回戦で九州古賀ボーイズに7対3で勝ち、2回戦は福岡春日ボーイズに10対3、3回戦で筑後ボーイズに5対3で勝利し、決勝では福岡志免ボーイズに4対2で快勝し、見事優勝。3月26日から首都圏で開催される全国大会への出場権を獲得しました。

松浦さんは、「常に全力プレーで、少しでもチームの勝利に貢献できるように頑張ります」と全国大会への意気込みを語ってくれました。



写真右側が
松浦さん ▶

棚田の保全をみんなで考える

長崎県棚田サミット

第15回長崎県棚田保全代表者会議（長崎県棚田サミット）が2月8日、福島公民館などで開催されました。

この会議は、日本棚田百選に選ばれた県内6地域で保全活動等に取り組む団体や関係者らが集まり、事例発表や活動内容などを紹介し、各団体が抱える課題の共有と、その解決方法を検討する目的で毎年開催されています。

この日は56人が参加し、棚田を取り巻く現状や取り組みが報告され、イノシシ被害対策の意見交換なども行われました。

棚田は管理が大変なため、その美しい姿が消えつつあります。

今後は、6地域以外にも参加を呼びかけ、活動の輪の拡大が図られる予定です。



自分と向き合い諦めずに挑戦する

松浦市 PTA 連合研究大会

平成30年度松浦市PTA連合会研究大会が2月10日、文化会館で開催され、339人が集まりました。

大会は、市内の子どもたちの健全育成と会員の資質向上を目的で開催されています。今回、御厨中学校PTA広報部の活動報告やロンドン2012パラリンピックで金メダルを獲得したゴールボール選手の浦田理恵さんによる「一歩踏み出す勇気～自分が変われば世界が変わる～」と題した講演が行われました。浦田さんは、目が見えないことをやらない理由にした過去の経験から、人生は自分が動かなければ始まらない、という思いや自分と向き合い一歩踏み出すことの大切さを訴えました。

来場者は、浦田さんの言葉に勇気をもらい、自分らしく生きることの大切さを学びました。



平成 30 年度長崎県スポーツ表彰および長崎県スポーツ教育長顕彰

長崎県スポーツ表彰および長崎県スポーツ教育長顕彰の表彰式が2月13日、長崎市で行われました。国際大会や各種全国・九州大会で素晴らしい活躍をした個人や団体、スポーツ活動の普及・発展に大きく貢献した個人や団体などに贈られます。本市の受賞者は下記のとおりです。

《長崎県スポーツ賞》

・野上 昂生 ボクシング競技

《長崎県スポーツ教育長顕彰》

・吉浦 悠 陸上競技

・太田 諒 水泳競技

・下条 樹希 水泳競技

・岩崎 基晴 水泳競技

・太田 紗彩 水泳競技

《長崎県スポーツ功労顕彰》

・香川 章太郎 ソフトボール競技



▲写真左から、吉浦悠さん、太田諒さん、岩崎基晴さん、
下条樹希さん、香川章太郎さん、太田紗彩さん、野上昂生さん

受賞者の功績の一端を紹介します。

○野上昂生さん（鹿町工業高校3年）

JOCジュニアオリンピックカップ第29回全国高等学校ボクシング選抜大会男子ミドル級において優勝。平成30年度全国高校総合体育大会ボクシング競技大会男子ミドル級において2位。

○吉浦悠さん（志佐中学校3年）

平成30年度九州中学校体育大会第40回九州中学校陸上競技大会男子3年1500mにおいて優勝。

○太田諒さん（佐世保北中3年）

第50回西日本年齢別選手権水泳大会男子13～14歳400m自由形において2位。

○下条樹希さん（志佐中学校2年）

第50回西日本年齢別選手権水泳大会女子13～14歳200m個人メドレーにおいて2位。

○岩崎基晴さん（調川中学校1年）

第50回西日本年齢別選手権水泳大会男子11～12歳50mおよび100mバタフライにおいて2位。

○太田紗彩さん（志佐中学校1年）

JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会女子11～12歳100mバタフライにおいて優勝。第50回西日本年齢別選手権水泳大会女子13～14歳200mバタフライにおいて優勝および100mバタフライにおいて2位。第50回九州ジュニア水泳競技大会女子13～15歳200mバタフライにおいて優勝。第38回九州カップ水泳競技大会女子11～12歳100mバタフライおよび13～14歳200mバタフライにおいて優勝。

○香川章太郎さん（今福町・北東1）

永年にわたり、長崎県ソフトボール競技の審判指導の中心的役割を担い、大会運営および審判員向上に貢献された。また、その後は松浦市ソフトボール協会の副理事長および理事長を歴任し、現在も副会長として当協会の運営に尽力されており、地域スポーツ振興とソフトボール競技の普及・発展における功績が高く評価されました。

太田 紗彩さん 二冠達成！全国の舞台へ

上記の長崎県スポーツ教育長顕彰受賞者である太田紗彩さんが、1月20日に佐世保市で開催された第41回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会長崎県予選会において、女子13歳100mバタフライで記録1分2秒06、同200mバタフライで記録2分13秒08で大会標準記録を突破し、3月に東京都で開催される全国大会への出場権を獲得しました。この記録により、200mバタフライは長崎県中学記録を更新しています。

太田さんは昨年200mバタフライの長水路（50mプール）と短水路（25mプール）の2つで日本学童新記録を樹立しており、中学校進学後も各種大会で活躍し、さらに記録を伸ばしています。